

NPO法人 防災デザイン研究会 30周年記念展

防災研究者と デザイナーの 協同研究の 30年

近年、地震・津波・風水害など自然災害が頻発し、私たちの暮らしは危機にさらされています。こうした状況で、災害への備え、被害軽減、復旧・復興を支えるデザインの役割はこれまで以上に重要です。防災デザインは、単なる情報伝達にとどまらず、人々の意思決定や行動を導き、いのちと暮らしを守る総合的な取り組みです。避難誘導サインやハザードマップ、災害時のコミュニケーション、地域防災計画、被災者の生活再建を支える仕組みづくりなど多岐にわたります。本展では、阪神・淡路大震災(1995年)の翌年、防災研究者とデザイナーの協同研究から始まった「防災ビクトグラム研究会」を母体に、正確な情報をわかりやすく届ける「伝わるデザイン」を軸に活動してきたNPO法人防災デザイン研究会(Alliance for Disaster Reduction Designs)の30年にわたる取り組みと成果を紹介し、防災デザインの意義と今後に向けた可能性をご来場の皆さまとともに考える機会としたいと思います。

「あまねく・うつくしく・わかりやすく」
をめざして

日/時/場所

2026 **1.14** WED ~ **3.25** WED **入場無料**

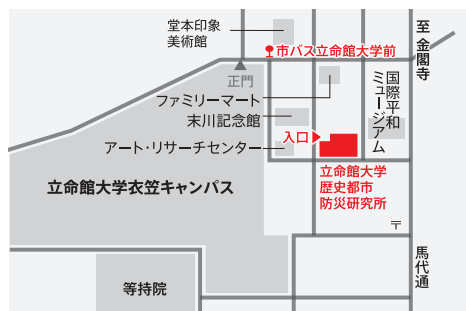
午前9時30分~午後5時・平日のみ(土日祝は休館)
立命館大学歴史都市防災研究所・展示ルーム

〒603-8341 京都市北区小松原北町58番地
TEL 075-467-8801 <https://r-dmuchi.jp>

※駐車場はありません。市バス・JRバスなど公共交通機関でお越し下さい。

主催：特定非営利活動法人 防災デザイン研究会 (ADD)
協力：立命館大学歴史都市防災研究所 (DMUCH)

DMUCH HP
アクセスマップ



展示構成について

これまで積み重ねてきた私たちの活動には、時代ごとに異なる課題や、仲間との挑戦、そして未来への試みが刻まれています。

本展示では、その歩みを「年表」として大型の壁面にまとめました。

まずは、私たちの活動の全体像と流れをご覧ください。

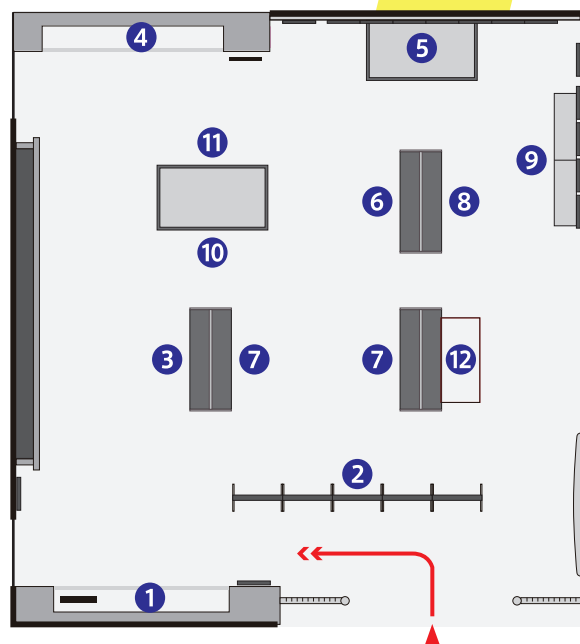
そのうえで、歴史の中で生まれた重要なトピックや象徴的な出来事を11のテーマとして抜き出し、個別の展示にしています。

各展示は、「なぜそのテーマが生まれたのか」「どのように広がり、誰と関わり、何を変えたのか」を、できるだけ立体的に理解していただけるように構成しています。全体の流れを示す年表と、焦点化されたテーマの双方を行き来しながら、私たちの活動がどのようにつながり、今へと続いているのかをたどってみてください。

■各展示コーナー／タイトル

- | | |
|---------------------------------|-----------------------------------|
| ① はじまりの想い | ⑦ EDM／マリキナプロジェクト(フィリピン) |
| ② 津波ピクトグラム／防災サインシステム | ⑧ 地図による災害対応支援 |
| ③ シェイクアウトから始めた「にしのみや津波ひなん訓練」 | ⑨ 被災者生活再建支援システム |
| ④ 京都、先駆的試み(地方自治体／企業・大学) | ⑩ 世界標準に即した災害対応(NIMS) |
| ⑤ 洪水ハザードマップの進化／カラーシステム ISO22324 | ⑪ あまねく伝えるために
～多様なコミュニケーションツール～ |
| ⑥ 「逃げトレ」津波避難戦略 | ⑫ 歴史文化都市の防耐火システムと機器の開発 |

ADD Alliance for
Disaster reduction
Designs
30TH



展覧会関連イベント

3/11

Wednesday

東日本大震災15年シンポジウム (共催：立命館大学歴史都市防災研究所)

「来るべき南海トラフ地震にデザインの力をどう生かすか」

地下1階 カンファレンスルーム 開場13:00



※事前に登録フォームでの申込みが必要です。(申込先着順／定員60名) 右のQRコードより申し込みください

13:30 開会挨拶

林 勲男 (防災デザイン研究会 理事長／国立民族学博物館 名誉教授)
吉富 信太 (立命館大学 理工学部 教授／歴史都市防災研究所 所長)

13:40 基調講演

「来るべき南海トラフ地震の被害を激減できるのか」 河田 恵昭 (関西大学 社会安全学部 特別任命教授)

14:10 パネルディスカッション モデレータ 16:30 パネリスト

林 春男 (京都大学 名誉教授)
鈴木 進吾 いのちをまもるデザイン
(防災デザイン研究会 理事／国立研究開発法人 防災科学技術研究所)
大窪 健之 もののデザイン
(立命館大学 理工学部 教授／歴史都市防災研究所 アドバイザー)
小林 皓介 つたえるデザイン (防災デザイン研究会／GK京都)
井ノ口 宗成 しごとのデザイン (立命館大学 政策科学部 教授)
河田 恵昭 (関西大学 社会安全学部 特別任命教授)
豊田 祐輔 (立命館大学 政策科学部 准教授／歴史都市防災研究所 副所長)
卜部 兼慎 (防災デザイン研究会 理事／GK京都)
有元 裕雅 (防災デザイン研究会)



ディスカッサント

司会

ADD Alliance for
Disaster reduction
Designs

問い合わせ先：

特定非営利活動法人 防災デザイン研究会 (ADD)

〒602-0898 京都市上京区相国寺東門前町 657 TEL / FAX (075)221-2728

HP: <https://add.or.jp/> E-mail: k.urabe@gk-kyoto.com (担当：卜部)

